



Lecture 3

全貌公開 新感覚！一番カンタンなやり方に特化した英語覚醒プログラム

藤永：こんにちは。

平山：こんにちは。第3回、いよいよスタートです。

藤永：第3回、おおっ！変わりました。

平山：あっ、はい。背景が。

藤永：あれは何ですか。

平山：ロンドンのビッグベンですね。

藤永：ビッグベン？

平山：はい。皆さん、行かれたことがありますでしょうか。

藤永：僕は行ったことないですねえ。

平山：うん。なんか聞いたところによると、日本の学校とかお役所なんかで定時になるとカンカンカンカンって、

藤永：はい、はい

平山：あのベルの音はこのビッグベンの時計の音が大元らしいんです、はい。

藤永：おおっ、うわっ、めっちゃいい、すごい知識、今、皆さん。

平山：うん、いえいえ。

藤永：ということで、さよなら～（笑）

平山：まだまだ（笑）今スタートですからね、皆さん！

藤永：今スタートですよ。いや、そうなんですね。

平山：そうらしいです。

藤永：ありがとうございます。

平山：いいえ、とんでもないです、全く。

藤永：さすが、気品高い、まあそうですねえ。

平山：で、さあ、いよいよこの第3回なんですけれども、

藤永：そうです、そうです。はい。

平山：もう皆さん、すっごく楽しみにしてると思います。

藤永：そうですねえ。

平山：一番簡単な、

藤永：お待ちしております。

平山：やり方に特化したプログラムをこの3回目、見ていただけたら皆さんに、

藤永：そうですね。

平山：はい。ご紹介できると、

藤永：ぜひ最後まで見てほしいと思います。

平山：うん。よろしくお願ひします。

藤永：お願ひします、はい。

平山：さあ、英語ができると人生が変わるということでございますね。

藤永：うん、そうですね。

もうこれ、私の体験でもそうですけど、もともとトラックの運ちゃんになりたいのが僕の夢で、英語の「え」の字も全然ね、もう本当マスターできてなかった、自分がやっぱ英語に触れて英語を習得したこと、で、やっぱ海外に飛び立てた、外国人と話せた、異文化に触れられた、

やっぱこれが一番自分の人生の中で、これから続くと思いますけど、一番大きなことかなと思います。

平山：もう先生の人生を変えてくれたのが英語習得だったと。

藤永：英語です。いや、もう 100%そうですね。英語がなかったらこういう人生も歩んでないと思います。

平山：なるほど。

藤永：こんな楽しい人生もなかったと思います。

平山：はい。まあそこまでいなくても、たとえば映画を字幕なしで観ることができたりとか。

藤永：そうそう。この実は要望というのが私の生徒さんにもものすごく多いんです。

平山：ああ、そうなんですね。

藤永：やっぱね、映画好きっていう方がものすごく多くて、実際映画館に行ったりとか、字幕とかもそうなんですけど、実は面白いのが、英語で聞いているとほかの方よりもワテンポ早く笑ったりとかする人っているんですよ。

平山：はい、はい。わかります！

藤永：わかりますよね。そういうのを体験してみたいと。もう私もそうですね。だからみんなが笑う前に笑ってる時とかあります。で、なんでこんなので笑うのっていうのもあります、実は。なんか日本語に変に変えてて、変なギャグを作ったりとか。

平山：あります、あります。

藤永：ありますよね。

平山：うん。あと結構日本語の字幕って割と省略されちゃってて。

藤永：省略されてます、そうです。

平山：ちゃんと言ってる内容が全然訳されてなかったりしますよね。

藤永：そうなんですよ。だから、本当の英語に触れたいのであれば、やっぱり字幕なしで触れてほしいなど、

平山：なるほど。

藤永：この要望ものすごく多いので、この動画を見てくださる方の中にも多いと思います。

平山：はい、そして先生のように、今よりも世界を自由に、

藤永：すごい飛んでますよね！

平山：これ、飛びすぎですけど（笑）

藤永：飛びすぎぐらい飛んでます（笑）

でもね、英語を習得したらこれぐらい飛んでいいんです。

平山：なるほど。

藤永：飛べると思います、はい。

平山：うん、本当にそうですね。

藤永：はい。それも180度変わるので、ぜひぜひ。

平山：今、本当世界各国、どこへ行っても英語がしゃべれればね。

藤永：ほかの言語を学ぼうという方も多いじゃないですか。そして、そこに行きたい。でもやっぱり基本は英語なんですよね。日本語でもない、もちろん。

やはり、英語。やっぱり、これが非常に大事な、もうこれは私は身をもって体験した、ビジネスの世界でもそうなんですけど、打ち合わせと言ったらもう100%どこの国に行っても英語です。

平山：うん、確かに。その通りですね。

藤永：もちろん、日常会話からビジネス英語ってあるんですけど、やっぱり基本となる英語の基礎ですよ。こういうのがやっぱり非常に大事になってくるといふことですよ。

平山：はい。海外にまで行かなかったとしても世界の情報や仲間とつながる、素敵な出会いがある、

藤永：そうです。もう外国人、多いじゃないですか。もうものすごく増えてきています。私の昔の時代よりも、もう普通に職場にいるのも当たり前になってきたし、日本の文化に興味がある方ってたくさんいらっしゃるんで、ぜひ自分がリーダーシップを取ってね、どんどん紹介してってほしいなと思います。

平山：本当に。親善大使となっていてくださいな。

藤永：そうですね。

平山：はい。

ということでそんな素晴らしい人生を皆さんも生きてみたいと思いませんか。

藤永：もうね、ぜひその、たかが英語、されど英語なんです。たかが英語じゃないかと、そう思ってた方もいると思います。でもね、本当に習得したら変わるんです。

平山：人生が変わる。

藤永：変わる。もう本当に変わります。だからそれを体感してほしいなと思います。

平山：うん。はい、生きるフィールドが広がります。

藤永：そう、本当そうですね。選択肢が広がるんです。

平山：本当その通りですね、はい。さあ、そんなことを実現してくれるのが、この藤永式メソッド、マスク・リスニングと。

藤永：そうですね。このマスク・リスニング。

平山：ということでございまして。

藤永：そう。マスクって出てきているからどういうことかと思うかもしれません。

平山：その辺りは詳しく後ほどご紹介するとして、

「なぜ、じゃあこのプログラムなんですか？」ということですが、

藤永：そうですね。ここにあるように英語ができる人っていうのは頭がいいというふうにしてらっしゃる方がものすごく多いと思いますよ。でもね、じゃあ日本語、皆さん、話せるじゃないですか。みんな頭いいですかっていうことです。

僕ね、英語しかわからないです。子どもが宿題聞いてきて、僕が答えを間違ってる言うんで、先生に怒られてもう僕に一切宿題聞いてこないですからね。

平山：（笑）

藤永：本当の話ですからね。もう英語しかわからないです。だからじゃあ頭がいいのかではないわけです。じゃあ言語習得に、そういう脳なのかということそれも違うと思いますので、皆さん、一番言語の中で難しいと言われてる一つがやっぱり日本語なんですよ。カタカナあり、ひらがなあり、

平山：漢字あり、

藤永：漢字ありで、英語にもあるんですけど、「箸」・「橋」なんかイントネーションあるじゃないですか。

平山：うん、いろいろある。

藤永：そういうのでも違ったりとか。

平山：そうですね。敬語があったりとか。

藤永：そう、敬語があったりね。これが難しいんですよ。そういうのを習得してきたんです。なので、英語なんて実はね、誰でもできる、正しいやり方さえやればということです。

平山：なるほど。

藤永：だから、そのために、要するに頭がいい人、イコール英語習得じゃないことを皆さんに体感してほしいという思いがありました。

平山：なるほど。ということでこの才能、学歴、年齢に関係なく一番楽なやり方。

藤永：そうです。年齢もね、本当全然関係ないですよ。

80歳の方もやってらっしゃいますから。

平山：うわっ、そうなんですね。

藤永：全然楽しんでらっしゃいます。全然関係ないです。

ただね、この年齢関係なくってありますけど、やはりある程度日本語を知ってらっしゃる方。じゃあ、これが3歳の方を、幼児というわけじゃないので、ある程度の日本語、多分この動画を見てらっしゃる方は、3歳児は多分見てないと思うので、この動画を見てて私の日本語が理解できてれば大丈夫です。

平山：あっ、それじゃ逆ですね。通常に言われてる言語の習得って、なんか、年が若ければ若いほどできるみたいにー

藤永：いやあ、それが、そうそう。

平山：皆さん、多分思ってたんじゃないですか。

藤永：もちろんそういうところもあります。それは否定はしません。でも、それに関係なく習得できるということ。

平山：それがこのメソッド？

藤永：このメソッドです。

平山：なるほど。じゃあ、まさに私たちみたいな大人にうってつけの、

藤永：そうなんですよ、はい。

平山：なるほど、了解しました。その背景となったのが先生のこんな体験、

藤永：そうです。

私、実は海外で人材紹介会社を共同でやっていたりもあって、毎日のように面談してたんですね。日本から海外で就職したい方、ものすごく多くて、ほとんどの方が英語をしゃべれなかったですね。

平山：はあ、そうなんですえ。

藤永：うん、ただね、有名大学とかが多いんですよ。言いませんけど、僕が高校の時とか知らなかったような、こちらの関東の大学とか、関西もそうですけど有名な外語大とかそういうのもあったりと、全然まともにしゃべれないですよ。文を見たらわかるとかね、そういう方は多かったです。ただ会話ができないですね。聞き取りも全くできない方。

平山：どうしてそうなってしまってるのか。

何十年勉強してもなかなか話せない、勉強が得意な方でも話せない。

藤永：だからね、僕、これ語弊があったらちょっと申し訳ないですけど、皆さん、自己満足をしてるんですよ。長い時間いっぱい英語を吸収しようと思って単語帳を作るわで、なんか日記を書こうとするわ、

平山：いろいろやります。

藤永：英字新聞を、

平山：読もう。

藤永：日常会話ができないのに英字新聞読めるはずがないですよ。

でも、自己満足なんです。難しいことをやった。で、結局やっぱり視覚、視覚でやってるでしょ？結局、自己満足がそこになるんです。でも自己満足をして上達をしないことを実証されてるのにそこに行っちゃうんですよ。

やっぱりそういう教育をされてきて、そういうのを押し付けられてやっぱりきたのが原因だと思います。だから苦手なんだけどそういう場所にやっぱり行ってしまふのが非常に多いですよ。

平山：でも、ほとんどの皆さんはこうなっちゃうと思うんですよ。やっぱり英語、よし、じゃあお勉強しようって、英語の勉強。

藤永：そう、お勉強になっちゃう。だから、私が言ってるのはやっぱり楽しもうよと。だって、日本語を勉強しようと思って誰も習得したわけじゃないですよ。

平山：確かにそうですね。

藤永：うん。必ずそこには流れがあって、そこで自然と習得していったものなので、英語も全く一緒だということですね。

平山：なるほど。じゃあ「数学得意ですか、それとも苦手ですか」とかいうのと、また英語は全然違うという、

藤永：全然違う。

平山：得意とか苦手とか、そういう話じゃない。

藤永：ない、ない。全然ないですね。

平山：ということで、これでございます。

日本人の大人の皆さんが英語をマスターするには、これ、ちょっと教えていただきたいんですけども、大人脳と赤ちゃんの言語習得プロセスの重なっている部分、

藤永：そうですね。

要するに、大人脳ってここにありますが、基本的にもう頭を固定されていますよね。ほかの動画でも言った、たとえば、日本語の文型の SOV という脳があったとするじゃないですか。

もう重なった部分であればもうずっとそこで行きますよね。多分、それで英語を習得しよう、習得しよう、習得しようということになる。プラス、やっぱり大人脳になってくると視覚から吸収することがものすごく多くなってきますよね。

平山：ああ、確かにね、読んで。

藤永：読んで習得することが、情報を入手するのは多分視覚がほとんどだと思うんですよ。

平山：ほとんどです、はい。

藤永：文字からということが非常に多い。ただ、この赤ちゃんの言語習得プロセスというと基本的にやっぱ耳から。

平山：そうですね。教科書読んで勉強するわけじゃないですよね。

藤永：そうですね。

ただ、その赤ちゃん、先ほども話にあった赤ちゃんのほうが習得が早いじゃないですかとか、小っちゃい子。確かにそういう部分もあるんだけど、でも大人脳としてできることも、有効なところも実はあるということなんですね。

平山：なるほど。

藤永：その視覚を使うとか、あとでちょっとお話ししますがイメージだったりとかは実は大人脳があるからやりやすいのも実はあります。知識があるからやりやすいこともあるので、ここを融合させるプログラムが今まで実はなかったということです。

平山：うん。というところなんですけれども、ここまでのお話聞いてなんかちょっと難しそうだなと思った方は、ここ、ポイントです。一番楽なやり方、

藤永：そうです。楽、みんな好きでしょ？

平山：大好き（笑）楽じゃなきゃ続きませんもんねえ。

藤永：そうなんです。あのね、続かないことが結局そうなんです。あと自分が苦痛感を感じ、ストレスを感じてしまっただけは何も習得しないと思いますよ。

平山：本当その通りです。

藤永：何か趣味があって、このスポーツを習得したいとか、ストレスを感じながらやっていたら多分続かないと思いますよ。だから私が特に考えるのが、ずっと言いました、私もね、英語以外得意だったわけじゃないわけです。

平山：うん、剃り込み先生だったんですよね。

藤永：（笑）

動画2で出てきたような学校じゃないですよ、ね。そういうところじゃないんですけど、やっぱり楽なほう、楽なほうというのが語弊があってあれなんですけど、コツをつかめば実は一番簡単なんですよ。楽になるんです。

平山：なるほど、うん。

藤永：そこが皆さん、多分わかってないところなので、楽なほうイコールコツなんですね、実は。それを私もその受験英語のような勉強をやってきたので、そこで見つけた、そしていろんな生徒さんを教えてきた中、そこで完成したこの方法があるので皆さん必ず長続きします。めっちゃ楽です。

平山：いやあ、ここまで聞いて、もう本当、皆さん、「それは何？何？」と今なっているとありますが、それがこれです。耳から英語を覚醒させるマスク・リスニング。

藤永：マスク・リスニング、はい。別にマスクをしてるわけではないです（笑）

平山：マスクしてしてない（笑）

藤永：実はこれ、方法論の話で耳から英語を覚醒させるっていうことなんです、

平山：うん。じゃあちょっと特徴を紹介していきましょうか、はい。

藤永：そうですね。

平山：一つ。バイリンガル感覚、英語が苦手な日本人を劇変させるバイリンガルたちが持っているリズム感覚。

藤永：はい。これ、動画1でしたっけ？でも説明して、動画2でもこのような数当てトレーニングだったりとか。

平山：具体的に、はい。

藤永：あったと思います。それをもっと簡単な方法でこれを覚醒させていくやり方ですね。だから、自分で何も準備をしなくてもいいっていう方法があるので。

まず、このリズム感覚、周波数ありましたね。これを習得させていくということですね。

平山：はい。そして、特徴の二つ目。イメージの英語回路と。

藤永：そうですね、イメージ回路。

これが実は自分でやるのがものすごく難しい方法で、ただ言いました、英語を聞いた時に、話す時もそうなんですけど、どうしても文字化してしまう。英語の文字が出てきてしまう、スペルが出てきたりとか。

平山：確かに、うん。

藤永：そこを強制的に変えていく。日本語を話す時と全く同じイメージを作ってもら。このイメージ回路を作っていくというところが特徴の一つですね。

平山：なるほど、はい。

そしてやっぱり何と言っても大切なのはこれ。
特徴3、一番楽なやり方（笑）

藤永：そうですね。それを意識的ヒアリングと言いました。意識しながらしっかりと聞いていくことですね。だから、この三つの要素がこう入っているものになります。

平山：なるほど。

これ、本当にガイドに沿うだけ。音声ガイドが流れてきて、そのガイドに沿って、テキストもいらない。

藤永：いらないですね。

平山：うん。だから本当に通勤中とかウォーキング中とか、なんか家事やってる最中とか、

藤永：そうです、そうです。

平山：それを1日5分から始めて。

藤永：そうですね。1日5分程度で全然十分ですね。

皆さんね、だからここがそうなんですよ、自己満足で。
3時間今日勉強しました、全然違います。

平山：そうそう、なんかできるようになった気持ち、

藤永：コツがわかってなかったら何の意味もないので、長く続けていただく。
そして、習得していただくのは5分ぐらいでちょうどいいです。

平山：なるほど。

藤永：5分だけやると言っても、結局コンピューターに向かわなくてもいいです。携帯とかスマホとか、ああいうのでも全然構わないです、できます。

タブレットだったりとか、それもできるので、あとは何か録音機器に落とし込んでやったりとか、そういうのもできます。すべてガイドが付いているので、そのガイドに沿って聞くだけです、本当に。

平山：もう本当にそれで聞くだけということでごさいますして、でも、とはいえくじけそうになった時にはちゃんと、

藤永：そうです。

平山：フォローを、コーチ、

藤永：僕がフォローします（笑）

平山：なんかいい顔（笑）なんか今全く同じような画像が上に出てますけど。

藤永：出てます？シャツ違いますよね、大丈夫？

平山：シャツが、シャツが（笑）

藤永：いや、でもね、ここがやっぱりまた一つ、楽しく続けられるっていうのと、やっぱ、一人ぼっちだと続かないんです。

平山：うん。確かにそうですねえ。

藤永：そこに僕が添い寝ができるわけじゃないですが、必ずそばにつきます。フォローします。一つ一つの質問に、こういう方が日本人多いんですよ。「この質問って大丈夫でしょうか」とか。

でも、恥ずかしいことは1個もないんです。だからその悩みはその生徒さんにとっては一番大事な悩みなんです。それを馬鹿にするようなやつって、もう上から目線の何々教授で教えてますみたいな人ですよ。

平山：なるほど。

藤永：そんなことは絶対しません。

私も苦しみました。だからその苦しみがわかります。なので、しっかりと、細かな質問でも構わないです。いつでもご連絡いただければと思います。

平山：はい。もう多分皆さんに一番寄り添ってくれる先生なんじゃないかなと思いますけれども、そんなことで英語の習得を卒業したら、視野を広げて人生を楽しもう、新たなステージに昇っていこうということでございまして。

藤永：そうですね。その英語を習得した次が大事ですってことですね。

だから、何かの夢を持ってとかって、そういうお話だと思います。なので、まず目標を持つこと、これも大事なので、もう1回目標をターゲットっていうか、目標をセッティングしてもらえればと思います。

平山：本当に小さいことでもいいんですよ。

藤永：小っちゃいことでいいです、全然いいです。

小っちゃな子どもたちに教えたいとかでも全然構わないんです。英語を教えたいというのもものすごい素晴らしい夢だと思います。

平山：はい。

さあ、それではそのマスク・リスニングのプログラムの概要を簡単にご紹介をしていきたいと思ってますけれども、スリーステップです。

藤永：スリーステップです、そうです。

簡単なステップっていうとまずイメージ回路を。イメージする癖づけですね。それを作って、そして英語の独特なリズムを身につけ、最後にすべての英語を理解しながら聞く。これが全く文字を見ずに理解できるというところまで持っていくことです。

平山：なるほど。このステップはこの順番でやっていくのが一番、

藤永：あっ、もう絶対これしかないんですね。

平山：しかできないんですね。

藤永：そうです。もうこの順序がバラバラでも、いきなりステップ3を始めたら、多分苦痛感を感じます。

平山：なるほど。

藤永：ステップ2から始まると、「何のこっちゃ？」ってなります。

これ、またあとでちょっと説明しますが、このまずステップ1から、実はこのステップが大事なんですということですよ。

平山：なるほど。藤永先生がもう長年の経験の中でこう培ったこの順番でやってく
ことということですね。

藤永：そうです、そうです。はい。

平山：で、その全編に渡ってフォローやコーチングがちゃんとあるから、
皆さん、安心して続けられますよ（笑）

藤永：そうです。大丈夫です。

平山：さあ、それではちょっとより具体的に見ていきますけれども、
まずステップ1、一番下のところから始まります。

藤永：そうですね。

ここでイメージ理解をイメージしてもらおうところと同時に、英単語、これ大
事ですよ。理解するには聞いていくんだけど、それも同時に習得してい
たこうというところです。

でも、これも文字は一切見ないですよ。文字は見ずにイメージをしながら、
実は吸収していくことをやってもらいます。これ、多分今までにない方法だ
と思いますね。

平山：なるほど。

藤永：基本的に日常会話。これがビジネス英語をやりたいとか、そういう方もいら
っしゃると思うんですけど、基本は日常会話です。これに使う英語を実はイ
メージ化させています。

平山：イメージ化？

藤永：はい。これも後ほど説明していくんですが、しっかりとイメージをしながら
日常会話の単語も同時に吸収していくという一番効率がいいやり方です。

平山：なるほど。で、そのイメージ理解が進んできたところで英語耳？

藤永：そうですね、英語耳。

これが要するにリズム感覚ですね、周波数。ここが実はマスク・リスニング
がなぜマスクが付くのかというところになります。これもまた詳しく説明す
るんですが、ここで実はしっかりとした英語を理解せずに聞かせるためのも
のすごく大事なことなんです。

平山：英語を理解せずに

藤永：理解せずに聞かせるんですね。

平山：聞かせる、ここ、ポイントですよ。

藤永：ここ、ポイントなんです。リスニングをしながら、最初の3単語だったり数当てでもそうですが、なぜ数当てをさせたかという、理解をさせないためなんです。

知ってる単語で耳が止まったり、知らない単語で耳が止まったり、文法的なことを考えたりってことをさせないためです。最初から最後までしっかりと英語を聞かせるっていう、ここでそういう仕掛けをしています。

平山：なるほど。これまでの英語習得プログラムとは全く違いますね。

藤永：全く違います。リスニングの教材とも全く違います。

平山：そして、この次にリスニング力の覚醒ですね。

藤永：そうですね。4、5、6は基本的にある程度つながっているんですが、しっかりとそこまで単語を吸収し、イメージ吸収し、英語のリズムを習得していくと必然的なんです。必然的にリスニング力は覚醒してきます。

平山：ついてくる。ある時パッとこう聞けるようになってくるわけですね。

藤永：そうですね。もちろん、イメージしながら聞くことができるようになるので。

これがなぜスピーキング能力の向上になるかという、イメージしながらアウトプットできるようになるんです。

だから頭の中で文字化せずに、日本語もそうですね。すーすーすーと話しているところ、言いたいこと。これとイメージで聞いててのすーとこう出てくる流れも英語で可能なんです。

平山：なるほど。

藤永：もう必然的なんです。スピーキング能力上がるというのがまず聞くこと。これが非常に大事ですね。

平山：はい。

ということで、このステップ6のこのスピーキング能力の向上まで到達できるということになっています。

じゃあ、スタート前はどんな感じなんですかということですがけれども、フォローコーチングとともにスタート、一人にしない、一緒に進んで背中を押していきますと。

藤永：そうですね。

平山：高いモチベーションのまま楽しく続けられる。
結構意外にこのポイントが今まで英語を勉強したい人の一番障壁になってたポイントの一つでもあるかもしれない、

藤永：そうですね。基本的にフォローコーチングですね。これはもう継続してやっていきます。で、一人ぼっちには絶対にしないです。

今まで挫折された方っていうのは、もうどんどんください。もう私、いろんな日本人の方の質問、悩みとか受けてきているのでわかります。

平山：ご自身もそうでしたもんね。

藤永：もうそうです。一番ほしかったのはやっぱりフォローしてくれる方でしたね。なので、一人ぼっちにならずに泣きたい時、辛い時、恋愛相談もしましょう。

平山：本当ですか（笑）

藤永：いや、わかんないですけど（笑）まあ基本英語でお願いします。

平山：基本英語でね、はい。

平山：それではここまで聞いていただいて、何となくわかったよって思ってしまったと思うんですけども、具体的にじゃあこのプログラムの中でどんなことをやってくのかを皆さんにご紹介していきたいと思いますが、改めて戻って、ステップ1。ここで何をするんでしょうか。

藤永：そうですね。ステップ1、このイメージ回路を作っこうということで、まず、ガイダンスがこう流れてきます。全くテキストは必要ないんですが、

平山：聞いているだけです。

藤永：そう、聞いているだけです。

英語の日常会話を中心に出てくるんですが、その単語だったり熟語だったり
がまず音声で流れます。そしてそのあとに、その和訳も音声で流れてきます。
実はその音声は平山さんが担当してもらっていて、

平山：そうなんです。陰ながらサポートさせていただきます。

藤永：私のこのガラガラ声よりも全然きれいな（笑）

平山：いえいえ。

藤永：聞き取りやすいと思います。

平山：とんでもないです。

藤永：これが英語が出てきて和訳でイメージをしていただくと言いましたが、この和訳だからやっぱ大人脳ができるところで、イメージをしやすくなるってところですね。

ここがやっぱ大人脳しかできない、子どもだけのだとちょっと難しいところなんです。

実は、音声だけでイメージは難しい方にもこの補足の PDF があるんですけど、それを実は見ていただくと、どうしてもイメージがしにくい方には画像が貼ってあります。

平山：なるほど。

藤永：そのイメージしやすいように「ああ、こういうイメージをすればいいのか」というヒントにしてもらえればなと思います。私がめちゃくちゃ時間かけて、実は 600 点以上、

平山：うわっ、すごい数の画像が

藤永：これにはこういうイメージがいいな、こういうイメージがいいなというので、実は手書きの部分もあったり、イメージしやすいようにしてます。

平山：ああ、だから先生、こんなやせちゃったんですね（笑）

藤永：もうやせちゃいました、もう本当に。本当このためですよ。やせました、いいとこ突っ込んでもらいました、本当に。

平山：そっか、そっか、なるほど。
じゃあそんなものもご覧いただきながら、誰でも簡単に映像がこう

藤永：そう、ここでイメージをする癖をつけてほしいなと思います。

簡単につくもんです。ガイダンスに沿って平山さんの美しい声を聞きながら、そういう癖をつけてほしいなと思います。

平山：はい。じゃあ、そうやってイメージ化できるようになってきたら、今度はリズム感覚。

藤永：そうなんです。

ここが先ほど申し上げましたマスク・リスニング、なぜマスクといわれてるのかというと、数当てトレーニングでもやったように、途中で耳が止まらな

いようにしていく方法ですが、実はこのマスクングという技術を使ってるんですね。

平山：マスクング？

藤永：じゃあ、どういう技術なのか。これ、英語業界では初です。

平山：はい、なんと。

藤永：医療現場で実は使われてる方法なんですね。

平山：医療現場ですか。

藤永：はい。たとえば、お医者さんにかかれて、病院に行って診断を受けてますとした時に、「平山さん、外でお待ちください」ということでこう待ってるとします。その時に前の患者さんが話ししてる内容が聞こえてしまっはダメですよ。

平山：うん、確かにそうですよね。プライバシーの問題が。

藤永：そのために実は音を消すというマスクングという技術があるんですよ。

平山：へえ。

藤永：実は医療現場だけではないんですけど、その技術というのをこの英語にも応用しました。

要するに、英語の意味を理解させないためにマスクングをかけています。はっきりと聞こえないようにして、リズムだけ、周波数だけが残るかたちにしているんですね。

平山：なるほど。

藤永：だから、ここで耳が止まらない。最初から最後まで聞くという持久力が身についてきます。ここで英語のリズム感覚、周波数を克服していただく。

これは数当てトレーニングをやらなくてもいいです。ここでしっかりとそのリズムだけを「う〜っ」とただ聞くだけです。

本当に聞くだけです。ぼんやりとしか恐らく聞こえないと思います。もうそれだけで、それが要するにマスク・リスニング。マスクング技術を使っているところですね。

平山：なるほどね。

やっぱり大人脳だとどうしてもね、単語単語、何言っただと思っこう、

藤永：そうなんですよ。今度は子ども脳にもなるんですよね。

要するに、ぼんやりと聞いてます、何かの音をつかんでるなというところがあるんで。そこがやっぱ大人脳だけではできないところ。

平山：なるほど。

そういうマスキングの技術を使うことによって、リズム感覚ができてきて、リスニング力が覚醒すると。

藤永：そうです。

平山：世界初の技術でございます。さあ、そしてネイティブ感覚、自然に浮かんでくる感覚—

藤永：そうですね。ここで要するに最後に一つの文、一つの文が大体 100 単語前後でできています。ストーリーになっています。

春、夏、秋、冬、春夏秋冬を網羅する単語を使っています。だからすべて日常英会話が基本となっている文、ストーリーが出てくるんですね。

本当にネイティブたちが普通に使うもののストーリーがちゃんとした英語で実は出てきます。そこで「あっ、聞いた」「イメージできた、イメージしながら聞いた」という感覚を体感してほしいんです。

多分ね、びっくりされます。こんなにはっきり音って聞こえるの？あっ、こんなにイメージってできるの？本当、この画像と一緒にですよ（笑）

平山：これ、かなり浮かれちゃってますけどね（笑）

藤永：かなり、うわってという感じです。

本当にびっくりされると思います。だからそのショートストーリーを繰り返して聞いてもらえればなと思っています。

平山：なるほど。

藤永：いやあ、本当びっくりしますから。

平山：うん。ネイティブのスピードと音声で聞けるようになってくる。

藤永：そうです。ゆっくりとか倍速とかよく聞いたりすると思って、

平山：あるある、はい。

藤永：あれですよ、何倍速とかゆっくりとか、あれリズムを全部消してますからね。
早口言葉じゃないですか。

平山：そっか、あれ、逆にダメなんだ。なるほど。

藤永：びよびよびよ、いや、全然ダメですよ。

周波数、全部殺してると思いますね。英語独特のリズムというのはナチュラルスピードしかないんです。だから、そういうことは一切やらないです。ナチュラルスピードでマスキングをかけ、ナチュラルスピードで最後に出すことをやっています。

平山：なるほど。さあ、というようなステップになっております。もう本当に新しいですよ。今までになかった、

藤永：ああ、全然ないと思います。

平山：うん。こういうプログラムだと思います。

藤永：このステップじゃないとあり得ないことなので。

平山：うん。これが本当に一つのプログラムの中で、

藤永：1個の音声ファイルに入っているんですよ。

平山：なるほど。

藤永：もうそれをクリックしてプッとこう聞くだけです。

平山：うん。そういうことでございます。本当にある意味、なんか簡単で楽な。

藤永：いや、もう楽。

平山：コツをやっぱりつかめば、

藤永：そう、コツをちゃんとつかんでるので楽なんですね。

平山：なるほどね。そして、言語習得をした暁には、もう新しい世界へ飛び出していけるということですね。

藤永：そう、そうです。

だから先ほども申し上げました、その目標設定というのもまたここでしてほしいなど。ワクワクする、ワクワクする、できるんじゃないか、それだけじゃなくて、やったあとに何をやるかがものすごく大事なので、ぜひそこをもう一度確認してほしいなと思います。

平山：ねえ。

藤永：もう全然余裕です、こんなの。

マスク・リスニングをやっただけで、ああ、こんなに英語って聞き取れるの。まずそこからスタートですね。

平山：本当に英語ができるようになると今までの自分が想像してなかったような、新しい自分の中の可能性とか生き方とか出会いとかそういうものが本当にありますね。

藤永：本当そうですね。世界観が変わります。

平山：世界観、変わります。ぜひ皆さんにも体感していただきたいです。

藤永：そうですよ。

平山：さあ、そしてそんな受講スタイルなんですけれども、先ほどからご紹介するように「聞いているだけ」なのでどんなシーンでも、

藤永：はい。もう聞くだけです。もう何度も言います（笑）しつこいぐらいに。

平山：しつこい（笑）

藤永：違う、違う。しつこいぐらい言わないと日本人の方って勉強するんですよ。

そうでしょう？

平山：そうか、そうか。ついついね。

藤永：いやあ、勉強、勉強って、いやもうね、しつこいぐらい言うんです。

もう聞くだけ。意識して聞くだけね。ちゃんとしたステップになるんで、ただ文をふーって聞き流すだけじゃなくてしっかりとしたステップがあるので。マスク・リスニングだけを聞くだけ。意識して聞くだけで全然構わないので。

平山：だからもうこうなんか取り掛かるまでがなかなか気持ちが盛り上がらなくてね、続かなくなっちゃったという方も多いと思うんですけど、

藤永：そうですね、本当に、聞くだけ。

平山：本当にこれだったら大丈夫と。

藤永：全然大丈夫です。

平山：いろんなことやりながらで。そして、先生の皆さんなんですけど、このような顔ぶれに。

藤永：おお、この頃が絶対太ってますよ。今やせてるでしょ？だからこれね、映像をイメージをこう選択してったらやせたんですね。なんかほうって顔してますね（笑）

平山：いえいえ（笑）

英語の音声も素晴らしいネイティブの方がね、入ってくださっております。

藤永：そうですね。もう本当にプロの方です。ものすごくきれいな音声なんで、もちろん平山さんの、はい。

平山：いえいえ。

藤永：これ、本当収録した時ですよ、多分ね。

平山：そうですね、まさにスタジオの中で撮った写真、

藤永：スタジオの中で撮ったやつです。そうです、そうです。

平山：はい。そしてこんな力強い講師がバックアップしてくれますし、なんとスペシャルギフト、特典もございます。気になる特典の一つ目はこちらです。

藤永：うわっ、すごい画像出てきました。

平山：（笑）

藤永：画像、これが実はそうなんです。最初はマスク・リスニングのイメージ画像はなかったんですよ。最初、音声だけでやってたんですが、その補足 PDF というかたちで画像を 600 点以上付けています。それでイメージしやすくなるということですね。これが和訳付きであります。

平山：じゃあ、つまりその音声ファイルを聞きながら、どうしてもやっぱり視覚的情報がほしいという方もいらっしゃるかもしれません。そういう方はこれを見ていただけると。

藤永：そうです。すべて。全 98 話なんです。全 98 話でこの重要単語だったりとか、みんなが習得してほしいイメージをさせるのは 10 から 15 個。そこからピックアップして、ある程度画像をはめこんでる。イメージしやすいものに関してのははめてるので、ものすごくいいトレーニングになると思います。

平山：はい。よりこれを使っただくといいかもしれない。そんな特典が今でしたら付いてるということで。そして特典の二つ目がこちらです。ゲーム感覚で語順感覚と英語の運用能力がつく PDF ということですよね。

藤永：そうなんですよ。

平山：これ、どういうことなんでしょうか。

藤永：実はこの動画 1 でも言いました、日本語は SOV、英語は SVO ですね。語順が全く違います。たとえば、海外から来た留学生の方がよく使う日本語ってのが「私、飲む、水」ってよく言うんですよね。「私、I、飲む、drink、water」なんですよ。

平山：うん、まさに英語の語順で。

藤永：「I drink water.」英語の語順で言ったりとかする同じ文型の国ですね。ヨーロッパだったりとかもそうなんですけど、そういう日本語を話します。

それくらい語順は大事であって、じゃあ日本語で「私、水を飲む」と言うと、「I water drink.」になるわけです。全然違うわけです。

この語順感覚を身につけてほしい。これをゲーム感覚で身につけることで実はアウトプットにもものすごく役立つ。

平山：なるほど。

藤永：変な日本人の英語にはならないっていうところをリスニング、そしてスピーキングにはもう欠かせないところですね。これもステップに沿って、これは PDF になるんですが、それを普通にゲーム感覚で解いてください。

レベル 1、レベル 2、レベル 3 のかたちで分けているので、自分はちょっとまだ英語は不得意だなという方はレベル 1 から。これはマスク・リスニングと並行してもらっても全然構わないです。

平山：うん。これだけ単独にまた別の時にやっていただいても

藤永：そうですね。

平山：でも、先生、これだけほしいです。

藤永：これだけほしい？確かにね、そういう方もいらっしゃると思うんですよ。

平山：すみません（笑）

藤永：いや、だってこれ、普通に商品になりますもんね。

平山：そうですね。

藤永：本になりますもん。

平山：なんかちょっと電車の中とかで暇な時とかできそうかなって思っ

藤永：そうそう、そういう時やってほしいですね。本当ゲーム感覚です。「合ってるかな、この語順？ああ、間違ってた」とか、もうそんな感じで全然構わないです。

平山：なるほど、ゲームですね。

そんな特典がこれも付いてくるということでございます。さあ、そんなマスク・リスニングですが、こんな方に参加してほしいです。

今いろいろ出てますけれども、世界にフィールドを広げて仕事や趣味、ボランティア含め好きなことやりながらグローバルに活躍したい

藤永：そうそう。ボランティアとかいいですね。やっぱり日本で困ってらっしゃる方とか、海外に行ってボランティアやってみたいなっていう方もいらっしゃる

平山：いろいろな学習法を試したけれども、英語がこれまで上達しなかった方、本当にたくさんいらっしゃいます。

藤永：そうですねえ。ぜひ、そういう方にこそ入ってほしいですね。生半可に英語を知って、「私、僕はできますよ」という方よりも「いやあ、不得意だなあ」という方に僕は入っていただきたいです。

平山：あっ、あえてね。もう今までなかなか成果出せられなかった方に。そして、ビジネス、昇進、就職、TOEIC、仕事で本当に重要ですもんね。

藤永：そうですね。ビジネスでも必要という方にもぜひトライしてほしい。やっぱり今までの英語学習とは全く違うのでぜひ試してほしいなと思います。

楽しくできる。だってね、仕事をやってストレスが溜まるじゃないですか。溜まったあとにまたストレスのやる勉強をやったらね、死んじゃいますよ、本当に。

平山：確かにそう。でも多いですよ、今。

藤永：そうでしょう？

平山：仕事行く前に英会話スクール行く方とか、

藤永：英会話するでしょう？で、もう結局本開いて寝てるんですよ、こうやって。

平山：確かに（笑）

藤永：ねえ。そりゃ疲れます。24時間休むところがないわけですから。マスク・リスニングでは休んでください。でも休んでもしっかりと習得してほしいと思います。

平山：うん、たった1日5分ですからね、皆さん。

藤永：そうです。たった1日5分です。もうたったそれだけで構わないです。

平山：最近は本当になんかもういろいろ価値観も多様化して、いろいろと世界のフィールドで活躍したい、そんな叶えたい夢も押さえ、習得できれば実現できるかも。

藤永：そうです。だからもうぜひ、まあできるかもというか、もうできますよね。

平山：できますね、うん。

藤永：だってもう英語ができたら怖いものないですよ。外国人から話しかけられ、海外、自分で行く。本当に広がるんです視野が。

選択肢が広がるんですよ。日本にいたっていいわけです、活躍できるフィールドっていうのは。インターネットは世界をつないでくれました。でもね、英語をしゃべらないと実は広がらないんです、それ以上。

平山：ああ、確かにそうかもしれないです。

藤永：だから英語というのは非常に大事、もう切っても切り離せないです、世界に飛び立つためには。

平山：まあ、そんな夢もまだ見つかってないという方でも、とにかく少しでも人生を変える何かきっかけを求めているっていう方もいらっしゃるかもしれない。

藤永：そう、きっかけにしてほしいですね。

平山：そんな方もぜひということでございます。

藤永：はい。ぜひ、お願いします。

平山：さあ、それでは気になるお申し込みの方法ですけれども、ジャン！プログラムの公開サイトより特別価格でお申し込みください。3日間の限定でございます。

藤永：そうなんです。どうしても無料にはできませんでした。ただね、皆さんもご存知だと思うんですけど、英会話学校、あれもう年間で30万とか、普通にしますよね。普通の教材といっても5、6万だったりとか

平山：しますねえ。

藤永：しますよね。まあ3万だったりとかするんですけど、そういう価格には全然設定してないです。もう皆さんが手を出しやすいお手頃な。無料にはどうしてもできなかったんですよね。先ほどの特典と一緒にごめんなさい。もうそれは本当に申し訳ないです。ただ、そのような値段設定ではないです。皆さんがちょっとしたお小遣い程度でできる価格にしていますので、ぜひ試してほしいなと思います。

平山：本当に私もここだけで言ってしまいますけれども、実際に自分が英語習得するまでいろいろと実は英会話スクール通いました（笑）

藤永：あのねえ、100万以上費やした方ってものすごく多いんですよ。

平山：はい、もう本当にお父様、お母様、ごめんなさいという感じ。

藤永：いや、本当にこれは多くて、100万以上ってね、そんなないと思うとざらなんですよね。多いです。でもね、10万、20万もものすごく多いですねえ。

ただ、そういう方々のためにラストチャンスで全然構わないです。それよりもぐっと落とした価格で。

平山：はい。特別価格でございます。

藤永：さらに、またその3日間に関してはさらに落としています。

平山：はい。サポートの質を保つため、先着順で人数制限を行う場合があつて、

藤永：これが先ほど言ったフォローのサポートですよね。私、やっぱね、一人でやるので影武者もいないですから。私一人がやるのでやっぱ限界があります。

平山：もっところ細くなっちゃいますもんね（笑）

藤永：いや、もう本当ね、これ以上どうするんです、なくなったら、僕。ぺっちゃんこになったら。

平山：見えなくなっちゃう（笑）

藤永：見えなくなりますよ。こんなカッコいいのに（笑）

平山：（笑）

藤永：笑うとこじゃないです（笑）

平山：すいません、失礼しました。

藤永：なので、本当ね、人数制限がやっぱどうしても必要になってきます。申し訳ないです。

平山：多分、たくさんのお客様がお申し込みになりますので、予告なく販売終了する場合がございますので何卒ご了承くださいだければと思います。

藤永：これ、申し訳ないです。3日間で自動終了してしまうので、ぜひこのチャンスつかんでほしいなと思います。僕ね、常に言うんです。みんなにチャンスは平等に来るって言ってるんですよ。

それをつかむか、つかまないかはもう本人次第であって、ぜひこうやってお会いしました。一期一会です。ぜひぜひ挑戦してほしい、試してほしいなと思います。

平山：はい。このプログラムをご覧になっていただいて、ああ、素晴らしいな。でもお得な特別価格は3日間だけということでございます。よろしくお願ひします。

藤永：そうですね、申し訳ないです。

平山：さあ、あなたも英語ができるようになったら・・・

What's next?

平山：次は何があるんでしょうか。

藤永：これが非常に大事ですね。

目標設定も大事なんですけど、やっぱり自分が習得して、今まで本当に皆さんね、英語がダメだ、挫折したりとか、苦い思いをされた方が多いと思うんです。

でもそれは義務教育で視覚から習得していたり、あんなので上手くなりっこないんです。きっちりと言語習得の流れ、そしてコツがそこにあります。私が今までいろんな日本人の方を見てきました。そこで完成したプログラムです。

ぜひ自信を持って。ただリラックスをして、もう勉強とはお別れしましょう。もう勉強しなくて結構です。もう普通のこの音声を聞くという言語習得の流れに沿っていただければ必ず明るい未来が待ってます。

そして、ただ私、売りっ放しにはしないです。フォローをしっかりとしていきます。一生の付き合いだと思っています。ぜひ、またいつの日かフォローアップ動画でお会いできる日を楽しみにしています。

いつでも困ったら来てください。一人で悩まないでください。マスク・リスニング、ぜひエンジョイしてほしいなと思います。

平山：ありがとうございます。

藤永：なんかもうこれで動画最後になるかと思うと、ちょっと悲しいですねえ。

平山：なんかねえ。もうちょっとじゃあやります？

藤永：なんかもうちょっとね。僕ね、めっちゃおわりの通りしゃべり好きなんです。なので2、3時間しゃべれと言われればしゃべりますけど、そんな動画見てもね。その時間があつたらすぐにでも試してほしいと思います。

平山：じゃあ、この続きはぜひこのマスク・リスニングのプログラムの中で。

藤永：そうですね。またお会いしましょう！

平山：はい、聞いていただくということで、ぜひ皆様、新しい人生の扉を開いてください！

藤永：はい。でも本当、三つの動画ね、最後まで見ていただいて、もうそれだけでも感謝です、本当は。もう嬉しいです。

平山：もうここで新しい一歩を皆さん既に踏み出していますもんね。

藤永：そうですね。

平山：はい、大丈夫ですよ。

藤永：はい。ぜひ楽しい人生を送ってほしいなと思います。

平山：はい。Enjoy life.ですね。

藤永：そうですね。

平山：さあ、ということでお届けをしてまいりましたが、藤永先生、このあとは

藤永：プログラム参加後にお会いしましょうということで、じゃあ、名残惜しく、最後にまた、はい！

平山：また皆さん、プログラムの中で！

もし、言語を超えて 新しい世界を楽しめるなら、 何だかワクワクしませんか？

もし、英語ができれば、
今まで自分が想像できなかった
新しい夢や人生の可能性が広がり、
世界観が変わっていきます。
あなたも新たな扉を開きませんか？

【重要】いよいよ次回、待望の英語プログラムを限定販売！

意識して聞くだけで英語覚醒させる『マスク・リスニング』を3日間のみの特価価格にて限定販売いたします。

「今度こそ、英語ができたら」と少しでも思っている方は、これからお送りするメールにて詳細をご確認ください。

さらに本プログラムにお申込の方全員に、

★特典1 多角効果を高める！和訳&画像付音声書き出しファイル

★特典2 ゲーム感覚で英語の語順感覚と英語運用能力がつく PDF

をもれなくプレゼントします。

プロの講師陣がレッスン



FIFA WORLD CUP2002 英語総合司会者

英語レッスン講師：平山みゆき

- ◇バイリンガル司会者
- ◇語学(英国ケンブリッジ大学クエアカレッジ卒業)
- ◇乗馬・ゴルフ・歌(都内ライブハウスに定期出演)・ダンス
- ◇FIFA WORLD CUP2002 英語総合司会 ◇スポーツうるぐす
- ◇おしゃれ関係(NTV) ◇キックオフ・F・マリノス(KTV)
- ◇W杯特番(スカパーフェクト TV) ◇武田薬品 CM 他多数



英語教育のプロが導く、 意識的ヒヤリング

Howard Colefield
出身地：アメリカ合衆国コネチカット州
学歴：コロンビア大学東アジア学部卒業



脳へ自然に浸透する美声

Hellen Morrison
出身地：アメリカ合衆国ウィスコンシン州
歌手兼女優として活躍中。
映画「プライド」にも出演。

【藤永丈司プロフィール】

何の対策もせずに初受験で TOEIC990 (満点)、英検 1 級取得。
小学校英語指導者資格、ニンテンドー3DS ソフト「TOEIC テスト
超速トレーニング」スペシャルアドバイザー。
芸能人への個別指導、英会話・TOEIC 講座、企業研修、他多数。

自身の受験英語への疑問や登校拒否といった苦い体験から、文法
や暗記などといった従来の学習を 180 度違う角度から切りこみ、
短期間で「英語回路」を身につけるメカニズムを発見。

10 年以上にわたる海外生活から、外国人の英語習得の早さと相対
する日本人の遅さの違いを同時に徹底的に解説・研究を繰り返す
ことで、日本人へ「英語回路」を植付ける仕組みを解明。

日本人には日本人独自の習得方法があることを見出し、
母国語を自然に覚えるメカニズムに独自言語習得法と本来人間が持っている爆発的な潜在能力
を融合する事でその効果を確実なものとしている。

主な著書にベストセラーシリーズ累計 10 万部『「超速」英語プログラム』『なぜ、留学生の
99%は英語ができないのか?』他多数。現在、2020 年までに 5,000 人のネイティブスピーカーを
輩出し、英語を使って、世界で活躍できる日本人を後押しするビジョンに向けて、初心者
を短期間でネイティブにする最短ステップをプログラム化し、多くの日本人に伝導している。



あなたも英語ができるようになったら…

WHAT'S NEXT?